

## 熊本地震から学び防災力の強化

質問  
しました!

### 質問

南海トラフ地震が危惧される本県は、2011年の東日本大震災以降、より具体的で、詳細な防災、減災対策が求められ、第3次地震アクションプランが策定、昨年の熊本地震発生により新たな課題が明確に。

熊本地震の教訓として屋外の野宿や大きな駐車場の「車中泊避難」が急増。行政機能では、災害拠点の庁舎が被害を受け使用不可。災害に見舞われた市町村は、職員自身の被災により、災害対策を的確かつ迅速に実施することが困難。

医療分野ではエコノミー症候群、ノロウイルスなどの感染対策・物資の確保・配送・罹災証明書発行などの課題が浮き彫りに。

熊本地震の教訓を活かして本県の防災力を向上の報告書(案)について、7つの分野に分けて検証中。そこで、7つの分野の中から、4つについて質問をいたします。

- ①「避難生活」について、県の今後の取組みは。
- ②「物資の確保」について、支援物資の物流体制が整わないとき、物資輸送拠点にて作業する県及び市町村職員の人材育成の今後の取組みは。
- ③「生活再建」では住宅被害調査の迅速化や罹災証明書交付体制の今後の取組みは。
- ④「県・市町村の活動体制」では被災市町村の応援のために派遣する県職員や市町村職員の能力向上の今後の取組みは。

以上4点についてお伺いいたします。



### 防災局長 答弁

#### ①「避難生活」について

車中泊避難が行われる大型駐車場や公園などを事前に把握し、発災時に避難者の状況を把握する。

#### ②「物資の確保」について

物資輸送拠点で作業する県及び市町村職員の人材育成は、国、市町村、物流事業者などで検討会を設置し、仕組づくり取組み中。

#### ③「生活再建」

罹災証明書は、市町村が行う住家の被害認定調査の判定結果で交付する生活再建に不可欠なもの。

#### ④「県・市町村の活動体制」

被災市町村に対し、県と他の市町村が支援する体制を整え、県・県市長会・県町村会で協定を締結。以上について、今年7月開設予定の「あいち・なごや強靱化共創センター(仮称)」にて、県や市町村の職員の訓練カリキュラムを活用した訓練を実施し、人材育成の確保を進めます。

## 藤原ひろき政策

政治は、誰がやっても同じではありません!

藤原宏樹

みなさまの声を  
ぜひお聞かせください

お問い合わせ

藤原ひろき事務所

〒442-0857 愛知県豊川市八幡町横道93-1  
TEL (0533) 56-8338 FAX (0533) 56-8321 E-mail:toyokawa\_hiroki@yahoo.co.jp  
県議会議員 藤原ひろきオフィシャルウェブサイト <http://fujiwarahiroki.com> Facebookもやっています

県議会議員 自由民主党 愛知県議員団所属

# 藤原ひろき 動!

県政レポート

Vol.14 2017年



## 放課後児童クラブについて (2017年2月健康福祉委員会にて)

質問  
しました!

### 質問

- ① クラブの定数40人程に対し、最大の70人までとなっており、県の状況は?
- ② ひとりあたりの基準面積1.65㎡に対し、県の状況は?
- ③ 待機児童の状況、及び今後のプランは?
- ④ 小学校教室の活用状況、教育委員会との連携は、どのように進んでいるか?



### 健康福祉部 答弁

#### ① クラブの定数40人程に対し、最大の70人までとなっており、県の状況は?

国が平成28年5月1日時点公表、45人以下及び46人以上で区切られている。

県内で46人以上は257ヶ所で、全体の19.4%。うち、71人以上は23ヶ所で、全体の1.7%である。全国平均は46人以上28.3%、71人以上4.2%で、全国より低い。

#### ② ひとりあたりの基準面積1.65㎡に対し、県の状況は?

放課後児童クラブの1人あたりの基準面積は、1.65㎡で満足しているクラブは1,140クラブ中、775で全体の68%。全国平均の73.9%とより低い。

本県の待機児童は、平成28年5月1日時点811人で、前年より25名増加。

「あいち はぐみんプラン 2015-2019」では、放課後児童クラブの登録児童数を平成26年の41,174人から平成31年度末までに52,004人と、約1万人の受け皿の増員を目標。

#### ③ 待機児童の状況、及び今後のプランは?

平成28年5月1日時点の登録児童数は50,351人で、平成26年から9,177人増加しており、待機児童の解消を目指して、今後一層計画的な整備を進めていく。

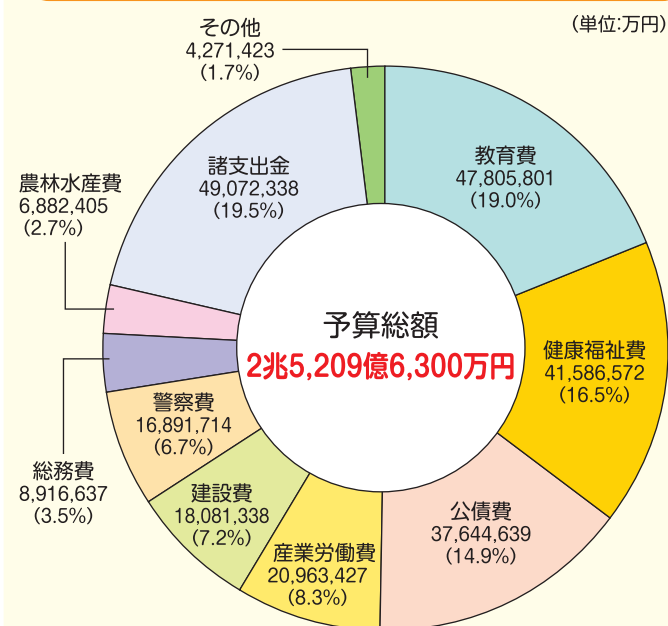
#### ④ 小学校教室の活用状況、教育委員会との連携は、どのように進んでいるか?

連携は、本年1月19日に、児童クラブ、子ども教室を一体的に実施している東海市を視察し、意見交換を行った。

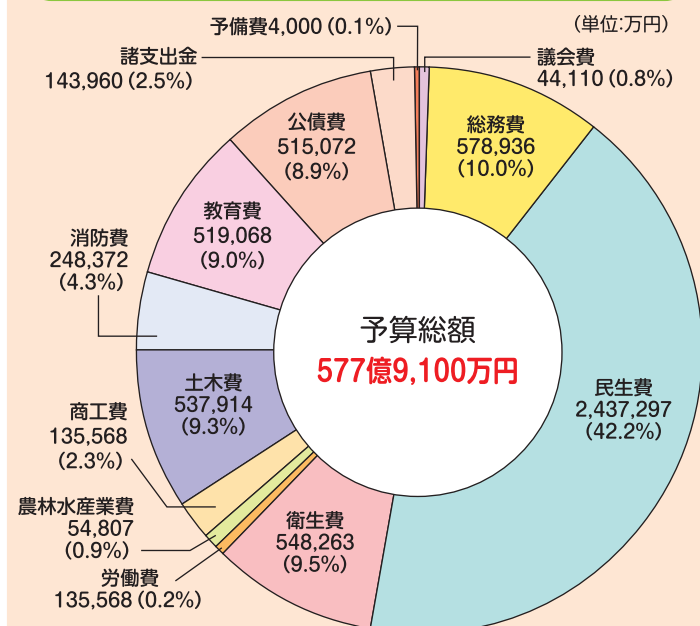
1月31日、第4回「放課後子ども総合プラン推進委員会」を開催。放課後児童クラブと放課後子ども教室の取組状況や成果等の事例集を、共同で作成中。来年度予算で、57ヶ所の整備予定、内35ヶ所は学校内に整備。



## 平成29年度 愛知県 主な事業



## 平成29年度 豊川市 主な事業



## 結婚・出産・子育て

### 平成29年度 愛知県 主な事業

- **婚活支援、子育てにわたる社会づくりを推進**  
社会全体で少子化対策を推進。企業と連携した婚活支援や、親父等の育児参加促進に関する取組を実施。  
予算額 4,498万円

- **軽度・中等度難聴児への補聴器購入を補助**  
身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児の補聴器購入費用等の一部助成。  
予算額 477万円



## 安心・安全

### 平成29年度 愛知県 主な事業

- **地域の発展を支える道づくりを推進**  
・国道23号線  
・東三河環状線  
・151号線交差点立体化 など  
予算額 880億円
- **医療ツーリズムを推進**  
外国人患者への先進的な医療の提供や最先端の医療機器を使った検診の実施など、愛知の優れた医療技術の活用により医療の国際化を推進。  
予算額 160万円

### 平成29年度 豊川市 主な事業

- **放課後児童健全育成事業**  
小学6年生までの受け入れ体制整備。児童クラブを4か所増設、受け入れ児童数を拡大。また、公設児童クラブにおいて、利用者負担金の減額を実施。  
予算額 3億1,547万円

- **保育所入所予約事業**  
育児休業明け（産休中で、産休の後に育児休業を取得する場合も含む。）の保護者が、年度途中でも安心して職場復帰できるよう、保育所への年度途中入所予約枠を確保。  
※平成29年度は公立10園、私立8園で20人程度  
予算額 961万円

### 平成29年度 豊川市 主な事業

- **八幡駅周辺地区調査事業**  
スズキ豊川工場を商業施設、日立跡地を文化・交流・福祉などの公共施設や住宅用地として活用を検討。平成29年度には八幡駅周辺の交通や住環境への影響など、調査等を実施。  
予算額 2,120万円
- **コンビニ諸証明発行事業**  
コンビニのマルチコピー機で、個人番号カードを利用して各種証明書が取得できるよう整備。  
予算額 2,550万円

## 平成29年度 愛知県 主な事業

- **在宅医療提供体制の充実**  
地域包括ケアシステムを構築するため、在宅医療に携わる医師を増加。在宅医療を提供する体制の充実・強化に向けた取組を推進。  
予算額 5億4,997万円
- **消防団への加入促進の取組を推進**  
「消防団加入促進事業費補助金」により市町村が行う消防団加入促進の取組を支援し、消防団を中核とした地域防災力の充実強化。  
予算額 1,650万円
- **交通事故減少で安全で快適な交通社会**  
交通事故死者数の減少に向け、計画的に信号機、道路標識・標示等の交通安全施設を整備し、歩行者の安全通行の確保や、交通事故の抑止と道路の円滑化。  
予算額 71億7,658万円
- **愛知県への人口流入・定着を促進**  
愛知の強み「住みやすさ」について、これから居住地を選択していく首都圏の大学生などの若者層を中心に、広くPR事業を実施し、首都圏への人口流出に歯止めをかけ、愛知への人口流入・定着を促進。  
予算額 1,025万円

## 文化・スポーツ

### 平成29年度 愛知県 主な事業

- **あいち航空ミュージアム開設**  
航空機産業の情報発信、産業観光の強化、次世代の航空機産業を担う人材育成を推進し、その拠点となる「あいち航空ミュージアム」を平成29年11月にオープン。  
予算額 48億円
- **あいちの花の需要拡大**  
花き産出額54年連続全国一の「花の王国愛知」をPR。  
予算額 1,323万円
- **愛知県国際展示場の開業の準備**  
「愛知県国際展示場」は、引き続き実施設計を進めるとともに、建築工事に着手。平成31年秋の開業に向けた準備。  
予算額 49億7,516万円
- **2026年第20回アジア競技大会の開催**  
愛知・名古屋で開催される「第20回アジア競技大会」に向けた取組。  
予算額 8,184万円

## 平成29年度 豊川市 主な事業

- **ワンコインがん検診事業**  
がん検診の自己負担金を、1つの検査につき一律ワンコイン（500円）で受けられるよう実施。  
予算額 2億7,925万円
- **国府駅東西連絡橋改修事業**  
東西連絡橋完成後30年が経過し、老朽化が進んでいるため、大規模改修工事を実施。  
予算額 1億2,050万円
- **消防団員処遇改善事業**  
消防団員の退職報償金の支給区分を見直し。  
予算額 1,953万円
- **災害情報収集機器整備事業**  
災害時の被害状況の把握、災害現場からの情報収集能力の強化、災害対策本部での判断・指示の迅速化を図るため、ドローン及び動画通信アプリを導入。ドローン操縦には確かな操縦技術を習得した隊員を養成し、豊川市防災ドローン航空隊（仮称）を結成。  
予算額 288万円

### 平成29年度 豊川市 主な事業

- **平和公園（仮称）整備事業**  
豊川海軍工廠にあった戦争遺跡を保存公開し、工廠の歴史や平和の尊さを語り継ぐ場として、平成30年度の供用開始に向け施設を整備。  
予算額 4億8,959万円
- **スポーツ公園整備事業**  
平成24年度に共用開始した野球場の北側に、サッカー場・ソフトボール場・多目的広場等を整備し、市民の健康・体力増進やスポーツ振興を図る。  
予算額 7,380万円

